



2026年10月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年6月11日

上場会社名 のむら産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7131 URL <https://www.nomurasangyo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清川 悦男
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 西澤 賢治 TEL 042 (497) 6191
 半期報告書提出予定日 2026年6月11日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年10月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年11月1日～2026年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年10月期中間期	3,838	18.1	560	79.7	560	78.7	408	96.6
2025年10月期中間期	3,250	1.2	311	15.0	313	15.0	207	19.2

(注) 包括利益 2026年10月期中間期 402百万円 (93.8%) 2025年10月期中間期 207百万円 (20.3%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年10月期中間期	308.88	—
2025年10月期中間期	157.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年10月期中間期	4,838	2,634	53.8
2025年10月期	4,910	2,349	47.3

(参考) 自己資本 2026年10月期中間期 2,602百万円 2025年10月期 2,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年10月期	—	0.00	—	89.00	89.00
2026年10月期	—	0.00	—	—	—
2026年10月期（予想）	—	—	—	96.00	96.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年10月期の連結業績予想（2025年11月1日～2026年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,360	3.5	810	7.5	809	7.4	548	7.9	414.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年10月期中間期	1,391,575株	2025年10月期	1,391,575株
② 期末自己株式数	2026年10月期中間期	69,351株	2025年10月期	69,307株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年10月期中間期	1,322,264株	2025年10月期中間期	1,322,292株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況.....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況.....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間（2025年11月1日～2026年4月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や堅調な設備投資の持ち直しなどを背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中東情勢をはじめとする国際情勢の不安定化に伴う原油価格の高騰及び円安の進行、並びに人件費の上昇に起因する物価上昇への懸念など、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような環境下におきまして、当社グループは、企業理念にある「人に優しい新技術」をモットーに、良いモノづくりときめ細かいサービスを継続すること、また、企業活動を通じた社会貢献に努め、安定した経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

その結果、当中間連結会計期間における当社グループの売上高は38億38百万円（前年同期比18.1%増）、営業利益は5億60百万円（前年同期比79.7%増）、経常利益は5億60百万円（前年同期比78.7%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は4億8百万円（前年同期比96.6%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次の通りであります。

（包装関連事業）

包装関連事業において、主要取引先であるコメ流通業界では、コメ価格の高止まりが続くことで消費者の購買意欲低下が懸念される状況に加え、中東情勢の緊迫化を受けた資材原料の供給不安の懸念もあり、市場環境は不安定な状況で推移いたしました。こうした状況下において、当社は安定的な資材供給を維持するため、販売先との情報共有及び仕入先との連携強化などを進め、供給体制の確立に注力してまいりました。また、機械関連は、2025年10月期に積み上がった受注を着実に収益化でき、納品状況についても概ね期初計画どおりに推移いたしました。

その結果、包装関連事業の売上高は33億71百万円（前年同期比21.1%増）、セグメント利益は5億7百万円（前年同期比82.1%増）となりました。

（物流梱包事業）

物流梱包事業につきましては、物流業界における働き方改革の進展やガソリン価格高騰などを背景に、物流コストが高水準で推移し、依然として不安定な状況で推移いたしました。こうした状況下においても、展示会を活用した販促強化をはじめ、積極的な提案型営業などの取り組みにより、新規引合いが増加したことから、売上高は概ね計画通りに推移いたしました。

その結果、物流梱包事業の売上高は4億66百万円（前年同期比0.2%増）となり、セグメント利益はのれん償却終了の効果もあり52百万円（前年同期比58.7%増）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ61百万円減少し、38億70百万円（前連結会計年度末比1.6%減）となりました。これは主に、売上の伸長に伴い売上債権が増加した一方で、法人税等の納税、配当金の支払い、及び仕入債務の支払いなどにより、現金及び預金が減少したこと等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ10百万円減少し、9億68百万円（前連結会計年度末比1.1%減）となりました。これは主に、投資有価証券の評価替え等によるものであります。この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ71百万円減少し、48億38百万円（前連結会計年度末比1.5%減）となりました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ3億58百万円減少し、21億28百万円（前連結会計年度末比14.4%減）となりました。これは主に、電子記録債務が期日到来により減少したこと等によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ2百万円増加し、75百万円（前連結会計年度末比2.9%増）となりました。これは主に退職給付に係る負債が増加したこと等によるものであります。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ3億56百万円減少し、22億4百万円（前連結会計年度末比13.9%減）となりました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億84百万円増加し、26億34百万円（前連結会計年度末比12.1%増）となりました。これは主に、株主配当により利益剰余金が減少した一方で、親会社株主に帰属する中間純利益を獲得したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4億34百万円減少し、18億33百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は2億91百万円（前年同期は使用した資金61百万円）となりました。これは主に、前年同期を上回る5億60百万円の税金等調整前中間純利益を獲得できたものの、売上債権の増加3億76百万円、仕入債務の減少3億80百万円及び法人税等の支払額1億51百万円が大きく影響したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は19百万円（前年同期は使用した資金26百万円）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が19百万円生じたこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1億23百万円（前年同期は使用した資金1億13百万円）となりました。これは主に、配当金の支払額1億17百万円が生じたこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年10月期通期の業績につきましては、2025年12月12日付「2025年10月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表した業績予想に変更はございません。なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当中間連結会計期間 (2026年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,268,428	1,833,465
受取手形、売掛金及び契約資産	787,262	977,366
電子記録債権	206,048	392,637
商品及び製品	163,717	156,066
仕掛品	356,581	353,033
原材料及び貯蔵品	133,221	121,475
その他	16,207	36,403
貸倒引当金	△284	△392
流動資産合計	3,931,182	3,870,054
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	470,871	480,981
減価償却累計額	△214,345	△219,694
建物及び構築物（純額）	256,525	261,287
機械装置及び運搬具	73,949	74,276
減価償却累計額	△29,055	△33,877
機械装置及び運搬具（純額）	44,894	40,398
土地	400,435	400,435
リース資産	63,223	56,732
減価償却累計額	△36,542	△34,575
リース資産（純額）	26,680	22,156
その他	60,458	71,303
減価償却累計額	△27,921	△33,056
その他（純額）	32,536	38,247
有形固定資産合計	761,072	762,525
無形固定資産	5,353	4,125
投資その他の資産		
投資有価証券	134,608	117,576
繰延税金資産	49,714	55,722
その他	29,100	28,921
貸倒引当金	△419	△118
投資その他の資産合計	213,003	202,101
固定資産合計	979,430	968,752
資産合計	4,910,612	4,838,807

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当中間連結会計期間 (2026年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	434,608	569,084
電子記録債務	1,588,001	1,073,153
リース債務	11,264	10,555
未払法人税等	175,300	170,557
賞与引当金	65,520	71,375
製品保証引当金	9,087	8,719
その他	203,253	224,762
流動負債合計	2,487,035	2,128,208
固定負債		
リース債務	22,376	17,324
退職給付に係る負債	24,505	31,629
資産除去債務	26,769	26,859
固定負債合計	73,651	75,814
負債合計	2,560,687	2,204,022
純資産の部		
株主資本		
資本金	80,000	80,000
利益剰余金	2,276,408	2,567,152
自己株式	△67,831	△68,009
株主資本合計	2,288,577	2,579,142
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,253	23,170
その他の包括利益累計額合計	34,253	23,170
非支配株主持分	27,094	32,471
純資産合計	2,349,925	2,634,784
負債純資産合計	4,910,612	4,838,807

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年11月1日 至 2025年4月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年11月1日 至 2026年4月30日）
売上高	3,250,343	3,838,624
売上原価	2,390,068	2,698,658
売上総利益	860,275	1,139,966
販売費及び一般管理費	548,537	579,926
営業利益	311,738	560,040
営業外収益		
受取利息	96	346
受取配当金	192	252
為替差益	1,372	—
補助金収入	26	773
その他	516	390
営業外収益合計	2,204	1,763
営業外費用		
支払利息	449	387
為替差損	—	1,269
その他	63	0
営業外費用合計	512	1,656
経常利益	313,429	560,146
税金等調整前中間純利益	313,429	560,146
法人税等	100,102	146,343
中間純利益	213,327	413,802
非支配株主に帰属する中間純利益	5,615	5,377
親会社株主に帰属する中間純利益	207,712	408,425

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年4月30日)
中間純利益	213,327	413,802
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,499	△11,082
その他の包括利益合計	△5,499	△11,082
中間包括利益	207,828	402,719
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	202,213	397,342
非支配株主に係る中間包括利益	5,615	5,377

（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	313,429	560,146
減価償却費	20,139	21,403
のれん償却額	14,143	—
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△346	△193
賞与引当金の増減額（△は減少）	△12,584	5,854
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	6,815	7,124
受取利息及び受取配当金	△288	△598
支払利息	449	387
売上債権の増減額（△は増加）	68,447	△376,692
棚卸資産の増減額（△は増加）	△14,334	19,603
前渡金の増減額（△は増加）	△1,428	△17,505
未収入金の増減額（△は増加）	△2,859	△533
仕入債務の増減額（△は減少）	△265,162	△380,370
未払金の増減額（△は減少）	△36,496	△50,434
未払費用の増減額（△は減少）	△5,240	△6,717
契約負債の増減額（△は減少）	8,908	48,925
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△2,077	△367
未払消費税等の増減額（△は減少）	△39,638	25,597
その他	1,678	3,409
小計	53,553	△140,960
利息及び配当金の受取額	288	598
利息の支払額	△438	△387
法人税等の支払額	△114,937	△151,144
営業活動によるキャッシュ・フロー	△61,533	△291,894
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△25,145	△19,065
無形固定資産の取得による支出	△645	—
その他投資等の増減額（△は増加）	△556	△381
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,347	△19,447
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△28,618	—
リース債務の返済による支出	△6,823	△5,761
配当金の支払額	△78,016	△117,681
自己株式の取得による支出	△74	△178
財務活動によるキャッシュ・フロー	△113,531	△123,621
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△201,412	△434,963
現金及び現金同等物の期首残高	1,462,453	2,268,428
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,261,040	1,833,465

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2024年11月1日 至 2025年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	包装関連事業	物流梱包事業	計		
売上高					
包装資材関係	1,878,560	—	1,878,560	—	1,878,560
包装機械関係	905,844	—	905,844	—	905,844
梱包資材関係	—	407,902	407,902	—	407,902
梱包機械関係	—	58,036	58,036	—	58,036
その他	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる 収益	2,784,405	465,938	3,250,343	—	3,250,343
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,784,405	465,938	3,250,343	—	3,250,343
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	613	613	△613	—
計	2,784,405	466,552	3,250,957	△613	3,250,343
セグメント利益	278,902	32,835	311,738	—	311,738

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自 2025年11月1日 至 2026年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	包装関連事業	物流梱包事業	計		
売上高					
包装資材関係	1,866,931	—	1,866,931	—	1,866,931
包装機械関係	1,504,775	—	1,504,775	—	1,504,775
梱包資材関係	—	422,095	422,095	—	422,095
梱包機械関係	—	44,822	44,822	—	44,822
その他	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる 収益	3,371,706	466,918	3,838,624	—	3,838,624
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,371,706	466,918	3,838,624	—	3,838,624
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	30	30	△30	—
計	3,371,706	466,948	3,838,655	△30	3,838,624
セグメント利益	507,937	52,102	560,040	—	560,040

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。